## 放射性廃棄物処理・処分 スケジュール



分野 廃炉中長期実行プラン2021 日標工程	括 作業	内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	4月	12	5月	6月	7F		8月	9月		11月以降	備考
● その他廃棄物対策関連 作業 作業	り「下来内谷		(実 績) ・サンプリング計画検討 ・分析計画検討 ・分析計画検対 ・分析データ取りまとめ ・水処理二次廃棄物分析  (予 定) ・サンプリング計画検討 ・分析計画検討 ・分析計画検討 ・分析データ取りまとめ ・計画に基づいた・サンプリングの実施 ・瓦礫類分析	接触的。	サンプリング計画検討 分析計画検討		90 <u>F</u> e	ンプリングの実施	P F.		互礫類分析	<b>Σ Δ</b> Φ	(2022年3月完了予定) (2022年1月完了予定)	<ul><li>・覆土瓦礫、建屋滞留水等の分析データをデータベースに収録。</li><li>・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取</li></ul>
S保管管理、処理・8			• 汚染水分析 • 水处理二次廃棄物分析	作號	水処理二次廃棄物分析			污染水分析					(2021年12月完了予定 (2022年3月完了予定)	水処理二次廃棄物:ALPS吸蓋材等を分析中。
●分析施設	4. 研究施設の 設置	JAEA分析・研究施設第1棟 施設の バイオアッセイ施設	(実 績/予 定) ・建屋現地工事 連絡通路等工事(連絡通路内装工事、建屋内仕上げ工事 等) 主要内装設備等工事 ・送排風機風量不足対応	現場作業	建屋現地工事  送排風機風量不足対応	管理区域用送風機総式験の時	、 排風機の単体作動試 時期は原因調査の結果を	験(2台運転時)の 踏まえて検討。	風量不足を確	3900			(検討維統)	・2021年1月:管理区域用送風機、排風機単体作動試験 管理区域用送風機、排風機の単体作動試験(2台運転時)の風量 不足を確認。 竣工予定時期は原因調査の結果を踏まえて検討。
●刈れ川地図			(予 定) ・設計検討	<b>晚</b> 时 股 計	設計検討								(2022年1月完了予定)	
		総合分析施設(予定)	(予定) (予定)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										・概念検討に向けた準備段階(計画が決まり次第反映予定)

固体廃棄物貯蔵庫1,2棟

A・Bテント

000 固体廃棄物貯蔵庫3~9块 00

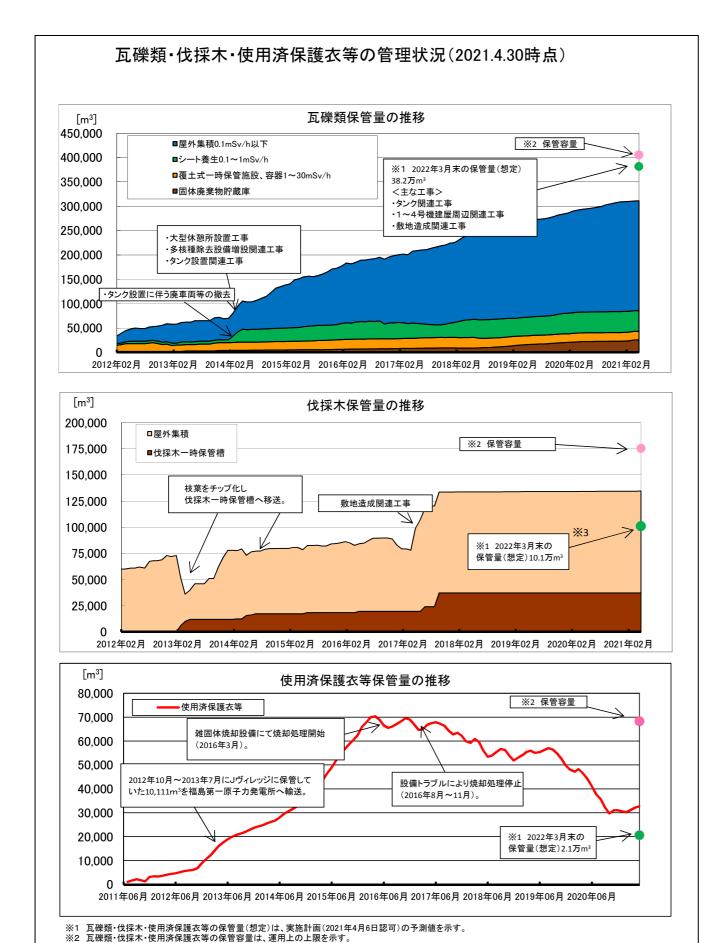
## 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.4.30時点)

分類		汉 [人]	<b>ホハ</b> ト			7 1 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			W2		
日本 日	分	類	保管場所	保管方法	空間線量率	保管量					トピックス	
日本の大田			А	屋外集積	0.15	500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	0%			MD 3
F2   原列集階   O11 末潜   6.400   m³   O m²   F8   85   1			В	屋外集積	0.01	5,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	100 %			MP-2
□			С	屋外集積	0.01未満	67,000 m <sup>3</sup>	微增 m <sup>3</sup>	212	100 %		・フランジタンク解体片	
□ 原発達			F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	85 %			
10 mSv/h以下			J	屋外集積	0.01	6,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	78 %			A H
○ 無事様 OO1末満 44,000 m³ O m³ - 88 % (85%) □ 日本 25 (2,000 m³ 改 m² 0 m² 0 m² - 100 % □ 日本 25 (2,000 m² 0 m² 0 m² - 100 % □ 日本 25 (2,000 m² 0			N	屋外集積	0.01未満	9,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	96 %	225400 / 270200		<b>*</b>
日本の	(0.11110		0	屋外集積	0.01未満	44,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	86 %	(83%)	定。	
U 房外集積 0.01 未足 700 m² 0 m² - 100% V 房外集積 0.01 6.000 m² 0 m² - 100% N AA			P1	屋外集積	0.01未満	62,600 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	6	98 %			MP-3
□ AA □ 原外集構 ○○1末海 17,000 m² ○ m			U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	100 %		(2020+1/3)	•
□			V	屋外集積	0.01	6,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	100 %			
世界	5		AA	屋外集積	0.01未満	17,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	47 %			
シート費主 (O.1 m/m Sv/h)         P2         シート費主 W         O.01         S.900 MP         の m3 O m3 O m3 O m3 O m3 O m3 O m3 O m3 O	樂		D	シート養生	0.01未満	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	58 %			
P2   シート度生   OO3   11,300   m³   O   m²   —   65%   42,300 / 70,000   (60%)   W   シート度生   OO3   11,300   m³   O   m²   —   65%   (60%)   W   シート度生   OO1   7,900   m³   O   m²   —   65%   (60%)   W   シート度生   OO1   7,900   m³   O   m²   —   OO5	類		E1	シート養生	0.02	14,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	91 %			
W シート聲生 003 11,300 m³ 0 m³ - 39% (60%)   X シート聲生 001 7,900 m³ 0 m³ - 65%   L 電土式一時保管施設 001末海 16,000 m³ 0 m³ - 100%   E2 容器 (1~ 32			P2	シート養生	0.01	5,900 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	65 %	42300 / 71000		固体廃棄物貯蔵庫3~9棟
器士式一時保管施設、 百器 (1~~ 日報 0.01末端 1.200 m³ 0 m³ − 100% 日窓 0.01末端 1.200 m³ 0 m³ − 99% 日窓 0.01末端 1.200 m³ 0 m³ − 99% 日窓 0.01末端 1.200 m³ 0 m³ − 99% 日窓 0.01末端 1.200 m³ 0 m³ − 0% 日本 0 m³ 0 m³ − 0% 日本 0 m³ 0 m³ − 0% 日本 0 m³ 0 m³ − 77% 日本 1.100 m³ 0 m³ − 74% 日本 1.100 m³ 0 m³ − 77% 日本 1.100 m³ 0 m³ − 77% 日本 1.100 m³ 0 m³ − 94% 日本 1.100 m³ 0 m³ − 100 m³ 0 m³ − 1	(0	0.1 111104/11)	W	シート養生	0.03	11,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	39 %	(60%)		
型土式一時保管施設。			X	シート養生	0.01	7,900 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	65 %			MP-5 A ====
音部	I > 0	容器(1~	L		0.01未満	16,000 m <sup>3</sup>			100 %			光辰里安
SOmSv/h)   F1   日部			E2		0.01未満			-		4	・ 主た瓦礫類は、1~4号機丁事等で発生した瓦礫類。	E
B体廃棄物貯蔵庫   B体廃棄物   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日					0.01未満					4	TODAKKON I ISMITTO CHEKKO	
国体廃棄物貯蔵庫   日本の			Q	容器	-	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	<u> </u>	0 %			<b>△</b> U
□ 日本	固体廃葬	棄物貯蔵庫		容器 <sup>※4</sup>	0.01	25,500 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	1	65 %		・固体庫9棟2階の運用変更により、保管容量(8,400m3)減。	
日   屋外集積			合計(カ	ガレキ)		311,100 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	-	77 %			二 《进門 _
(投援     (株・枝・葉)     M     屋外集積     0.01未満     39,800 m³     +100 m³     ⑦     88 %     (73%)       一時保管槽 (枝・葉)     Q     (大塚木一時保管槽     0.01未満     26,200 m³     0 m³     0 m³     - 88 %     37300 / 41600       一時保管槽 (枝・葉)     T     (大塚木一時保管槽     0.01未満     11,100 m³     0 m³     - 94 %     (90%)       一合計 (戊塚木)     134,700 m³     +200 m³     - 77 %       保護 衣     空器     0.01     32,800 m³     +600 m³     32,800 / 68300 (48%)     ・使用済保護衣等焼却量 9,187t (2021年4月末累積) ・焼却灰(ブラスト材含む)のドラム缶数 2,439本 (2021年4月末累 積)			G	屋外集積	0.01未満	25,300 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	7	63 %			
大			Н	屋外集積	0.01未満	31,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	-	74 %	97400 / 134000		MD-7
一時保管槽 (技 ( 大 ( 東 )	戈┃(幹・根・ ∞┃		М	屋外集積	0.01未満	39,800 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	7	88 %	(73%)		MI /
ではません   1	<b>木</b>		V	屋外集積	0.01	600 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>	7	10 %			◎ 瓦礫類保管エリア
T   伐採木一時保管標   O.01未満   11.100   m³   O   m³   - 94 % (90%)   マスラッジ保管エリア   合計 (伐採木)   134,700   m³   +200   m³   - 77 %     使用済保護衣等焼却量 9.187t (2021年4月未累積)   ・使用済保護衣等焼却量 9.187t (2021年4月未累積)   ・焼却灰(プラスト材含む)のドラム缶数 2.439本 (2021年4月末累積   ・ 株割灰(プラスト材含む)のドラム缶数 2.439本 (2021年4月末累積   ・ 株割灰(プラスト材含む)のドラム素数 2.439本 (2021年4月末累積   ・ 株割灰(プラスト材含む)のドラム素数 2.439本 (2021年4月末累積   ・ 株割灰(プラスト材含む)のドラム素数 2.439本 (2021年4月末累積   ・ 株割灰(プラスト材金む)のドラム素数 2.439本 (2021年4月末   ・ 株別 2.439本 (			G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	B —	88 %	37300 / 41600		
保護 屋外集積	(枝•葉)	)	Т	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m <sup>3</sup>						<sup>◎</sup> フラッジ保管エリア
保護 屋外集積			合計(依	<b>戈採木)</b>		134,700 m <sup>3</sup>	+200 m <sup>3</sup>	-	77 %			⇒濃縮廃液保管エリア
合計(使用済保護衣等) 32,800 m³ +600 m³ - 48 %	保護 医外集積 衣			容器	0.01	32,800 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>S</sup>	13	48 %			G
			合計(使用)	<b>斉保護衣等</b> )		32,800 m <sup>3</sup>	+600 m <sup>3</sup>	_	48 %			To the same of the

- ※1 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは50m<sup>3</sup>未満の増減を示す。
- ※2 主な変動理由:①1~4号機建屋周辺関連工事 ②タンク関連工事 ③敷地造成関連工事 ④構内一般廃棄物 ⑤エリア整理のための移動 ⑥フランジタンク除染作業 ⑦伐採木受入 ⑧港湾関連工事 ⑨水処理設備関連工事 ⑩砕石取り出し ⑪5.6号機建屋周辺関連工事 ⑫その他作業 ⑬焼却運転の未実施
- ※3 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

## 水処理 二次 座棄物の管理状況(2021 5 6時占)

<u> /]\</u>	だせーク	、	こうへんしくとし	21.0.0	H • J	/iii /				
分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減 (2021.4.1 - 2021.5.6)		保管量/保管容量 (割合)	トピックス		
		セシウム吸着装置使用済ベッセル	779	本	0	本				
		第二セシウム吸着装置使用済べり	244	本	0	本			1000	
		第三セシウム吸着装置使用済べり	9	本	+2	本				
	使用済吸着塔	夕井拜吟十二进饮归笠应即	既設	1,904	基	+9	基	5118 / 6372		
	保官施設	多核種除去設備等保管容器	増設	1,867	基	+17	基	(80%)		
水		高性能多核種除去設備使用済ベッセル 高性能 多核種除去設備処理カラム 既設		83	本	0	本			使用済セシウム吸着塔保管施設
処理				17	塔	0	塔			
=		モバイル式処理装置等使用済ベッ	215	本	0	本				
次廃棄 物	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	425	m <sup>3</sup>	+5	m <sup>3</sup>	425 / 700 (61%)	・滞留水処理に伴う除染装置の運転計画は無く運転によって新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	使用済保護衣等	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,368	m <sup>3</sup>	+23	m <sup>3</sup>	9368 / 10300 (91%)	タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし)     水位計0%以上の保管量:9,268 [m]     タンク底部~水位計の保管量(DS):約100[m]		



※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定

